

回答

工事名：町道上坪東小竹線改良工事（2工区）

番号	質問事項	回答
1	<p>設計書の枠内シート工の数量について 枠内シートの数量は、100㎡のソイルクリート工を行う場合は、枠内シート工の数量の計上は100㎡となります。あるいは、枠内モルタル吹付工の箇所は枠と枠内を同時に施工するとして、枠内シート工を行わないのなら、ソイルクリート工枠内植生基材吹付の全体面積を計上する必要があります。</p>	<p>変更対応とします。</p>
2	<p>枠吹付工の材料数量について 枠吹付工のセメントと砂の材料数量は、1m³当りセメント420kg、砂1.24m³なので、その数量にロスをかけた数量にする必要があります。</p>	<p>当初の設計数量はロス分を計上済です。</p>
3	<p>標準ソイルクリート工は、型枠を使用しない簡易吹付法枠工になります。そのため、のり枠のひび割れ防止や枠の整形性向上のために、繊維補強材（NAF-6：ナフロク）を混和材として使用しています。繊維補強材については、治山林道必携にも記載がございます。そのため、簡易吹付法枠工は、繊維補強材の計上が必要と考えますが、いかがお考えでしょうか？</p>	<p>変更対応とします。</p>
4	<p>ソイルクリート工の歩掛が、治山林道必携歩掛が使用されているため、非常に安価な価格となります。治山林道必携の簡易吹付法枠工の歩掛による工事費は、材料価格の高騰、労務費の上昇等で影響する市場単価の上昇等の実情とあまりにも乖離しているため、協会歩掛を使用させていただきたくお願いをしております。協会歩掛は、R5年度に、人手不足やフルハーネス式安全帯への移行、現場技能者の高齢化、経験の浅い現場作業員の増加等により、日作業量が低下しているため、市場の状況に合わせて、歩掛を変更しています。</p>	<p>治山林道必携歩掛を使用します。ただし、現地状況等との乖離がある場合は、別途協議をします。</p>